



社長のための 経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第 296 号

平成 30 年 4 月 5 日（木）

発行 税理士法人 KJ グループ

〒536-0006 大阪府野江 4 丁目 1 番 6 号

TEL : (06) 6930-6388

FAX : (06) 6930-6389

賃貸物件の転貸でも収益が期待できる！ リスクも少ない「貸会議室」への投資とは

若年層に狙いを定めた低額や小口の投資商品が増えている資産運用市場。「失われた 20 年」の記憶が鮮やかに残っていることもあり、「低リスクで安定収益を確保したい人」が増えている証といえる。そんな人が注目したいサービスを展開しているのが株式会社スピーシーだ。同社が展開するのは「会議室シェアサービス」。企業の会議室や飲食店の空き時間を遊休スペースと捉え、シェアリングで有効活用しようというのが当初の狙いだったが、テストマーケティングとして自社でスペースを借りたところ、2～3 カ月で家賃以上の収益を得ることができたのだとか。

そこで遊休スペースだけでなく、小口の投資先を求める投資家の受け皿として活用をはじめたのが同社の秀逸なところだ。賃貸物件の転貸でも収益が得られた自社の経験から、投資家に物件を借りてもらって貸会議室として運用を始めたのである。小型の物件ならば初期投資は約 50 万円、収益は月 12～20 万円ほど見込むことができ、1 年ほどで初期投資が回収できるという。現状、約 100 名の投資家が約 300 件の物件を運営しており、2 件目、3 件目と増やしている人も少なくない。民泊に規制が入るように、こうした転貸ビジネスの形態が変わっていく可能性もあるが、集客や運営管理を一任できるのは大きな魅力。本業とは別で資産を増やしたい人にとっては検討する価値がありそうだ。